



活躍が期待される自転車女子の室谷榎音（ハ学大）

自転車は、女子のハ学大3選手にメダル獲得の期待が高まる。エース室谷榎音（青森商高出）は、高校時代から数々のタイトルを総なめにした国内トップ選手。昨年は全日本選手権1キロタイムトライアルを制しており、地元国スポでも輝きを放てるか。

近田ちひろは今年5月の東日本学生選手権で3冠を達成。7月の全日本学生選手権1キロタイムトライアルで2位に入った丸子南（東北福祉大）と頂点を見据える。

アーチエリーは、全国高校総体（インターハイ）男子団体に準優勝を飾った青森山田高で構成する少年男子に注目。メンバーの阿部晟也はインターハイで個人3位に入っており、総合力の高さで表彰台を目指す。

成年男子は、47歳のベテラン白戸渉（ユアテック）が参戦。6月の全日本社会人ターゲットアーチエリー選手権壮年男子の部で優勝するなど状態は万全だ。

高校野球の硬式は、今夏甲子園で8強入りした7チームに、地元枠の青森山田を加えた8チームが出場する。

青森山田は切れ目のない打線と、継投で相手をかかわす総合力の高さが特徴だ。1回戦の相手は夏準Vの健大高崎（群馬）。甲子園2回戦で敗退した悔しさを晴らし、夏の雪辱を果たせるか。

強豪校対決となる横浜1智弁和歌山は1回戦屈指の好カード。甲子園準決勝では智弁和歌山に軍配が上がったが、最速157キロを誇る横浜の右腕エース織田翔希が、今度こそ強力打線を抑え込めるか。

会期前Ⅱ 県勢展望

煌めく
青森
国スポ
2026

2日にスタートする第80回国民スポーツ大会「青の煌めき」あおり国スポ・会期前Ⅱ。先行開催第2弾となる今回は、アーチエリー、自転車に、特別競技となる高校野球（軟式、硬式）を加えた3競技を実施する。活躍を期す青森県勢を展望する。（小嶋嘉文）

自転車女子 メダル期待 アーチエリーも有力